



JR九州グループの会社説明会

九州旅客鉄道株式会社

(東証プライム・福証／証券コード 9142)



本日本お伝えしたいこと

JR九州グループについて

- JR九州グループのあゆみ
- JR九州グループの事業構成

JR九州の経営戦略

- JR九州グループの経営理念
- JR九州グループ中期経営計画2025-2027

決算ハイライト ・ 株主還元

- 2026年3月期第1四半期連結決算ハイライト
- 2026年3月期通期連結業績予想
- 株主還元方針
- 株主優待制度



JR九州グループについて

JR九州グループのあゆみ

JR九州グループの事業構成



JR九州グループについて

JR九州グループのあゆみ

JR九州グループの事業構成

JR九州グループのあゆみ

「日本国有鉄道」の分割民営化によりJR九州が発足

■ あらゆる事業に挑戦する精神

「鉄道事業だけに依存してはいけない」という思いで、
様々な事業に挑戦し成長を実現してきた



JR
JR九州
1987





JR九州グループのあゆみ（JR九州を表す数値）



年間輸送人員_(鉄道・バス)
3.3億人

「ななつ星 in 九州」ご利用者
40の国と地域

従業員数_(単体)
7,614名

グループ会社
42社

連結営業収益
4,543億円

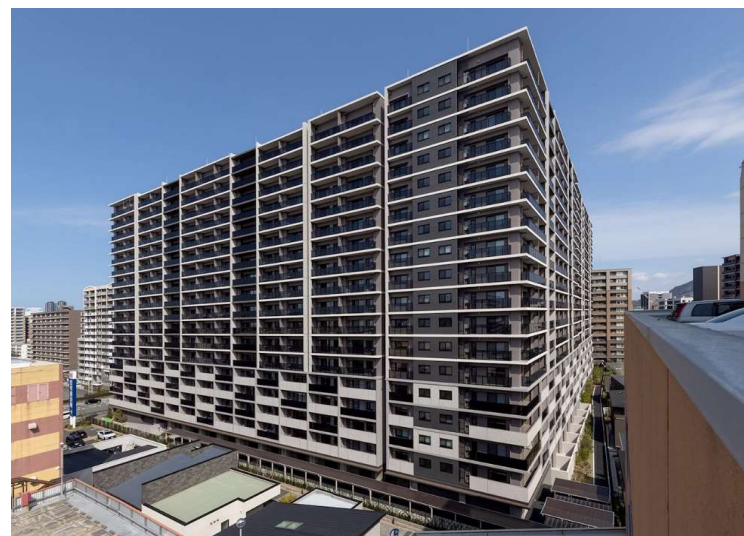


JR九州グループのあゆみ（JR九州を表す数値）



駅ビル入場者
50万人/日

流通・外食店舗数
548店舗



分譲マンション竣工戸数
10,357戸

ホテル宿泊者
5千人/日



JR九州グループのあゆみ

地域を元気にするという思いのもと鉄道事業と関連事業の両輪であらゆる価値を創出

● 鉄道事業



(D&S列車)

- ・ 1989年の特急「ゆふいんの森」の運行を皮切りに、現在では、10本のD&S列車（デザイン&ストーリー列車（観光列車））を運行
- ・ 2024年4月に「かんぱち・いちろく」がデビュー



(ななつ星 in 九州)

- ・ 2013年に日本で初めてのクルーズトレインとして誕生
- ・ 米国出版大手コンデナスト社の旅行誌の読者投票では「世界の豪華列車」部門で3年連続世界トップに選ばれる



(九州新幹線・西九州新幹線)

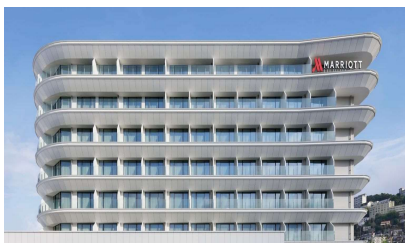
- ・ 2011年に九州新幹線（博多～鹿児島中央）が全線開業し、JR博多シティとの相乗効果で当社の成長はさらに加速
- ・ 2022年に西九州新幹線が開業し、西九州エリアの活性化を後押し



JR九州グループのあゆみ

地域を元気にするという思いのもと鉄道事業と関連事業の両輪であらゆる価値を創出

● 関連事業



(不動産・ホテル)

- ・ 1989年に初の分譲マンション販売を開始
- ・ 1992年に「ホテルブラッサム福岡」を開業
現在、九州・沖縄、京都、東京、タイにて、20のホテルを展開
- ・ 1997年に初の駅ビル事業であるアミュプラザ小倉が開業
現在、九州の県庁所在地を中心に駅ビルを7箇所で開催
- ・ 2021年に物流事業へ参入
現在、九州内で物流不動産を5件稼働中、5件の開発に着手

(流通・外食)

- ・ 2002年には、飲食店「うまや」を東京・赤坂に開業するなど、東京、九州で外食事業も展開



JR九州グループについて

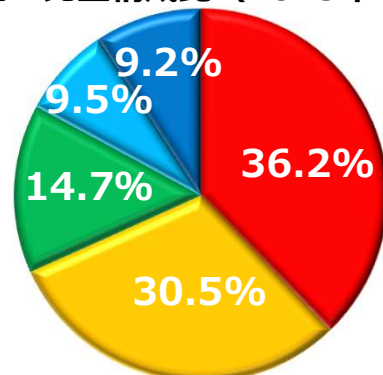
JR九州グループのあゆみ

JR九州グループの事業構成

JR九州グループの事業構成

- JR九州グループは、九州全域に鉄道網を有する鉄道をコア事業とする企業グループ
- 駅ビルやホテル、マンション、建設、流通や外食事業など、鉄道事業との相乗効果が
高い領域を中心にその事業領域を拡大
- 鉄道以外の事業による売上が**約6割**となっており、事業の多角化が進んでいる

【セグメント別 売上構成比（2025年3月期）】



不動産・ホテル



流通・外食



建設



ビジネスサービス

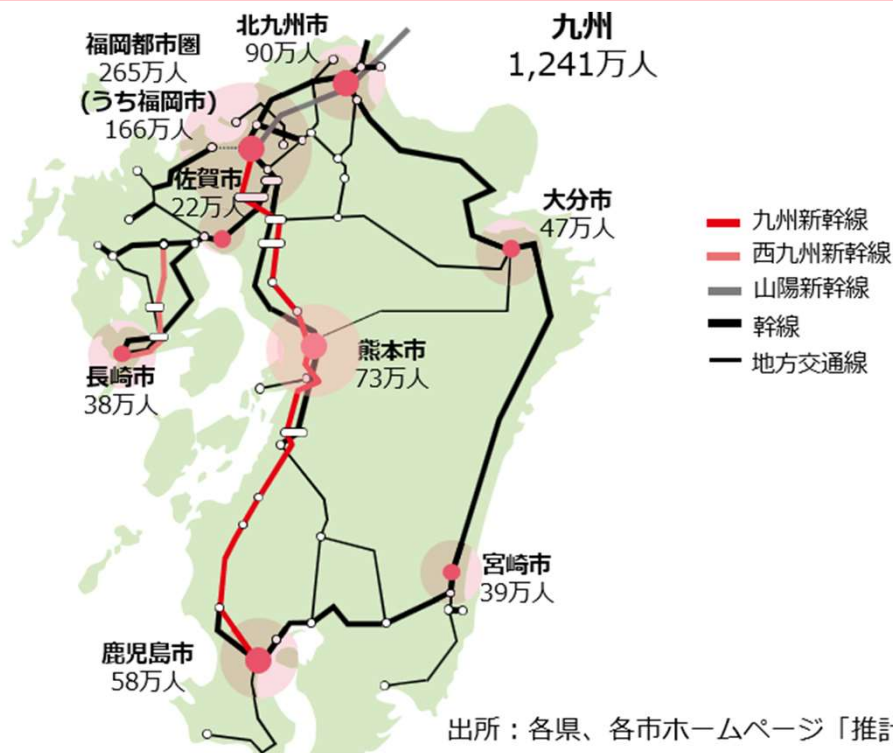


運輸サービス



JR九州グループの事業構成(全国屈指の経済基盤を有する九州)

- 九州は『日本の1割経済』という位置付け(域内総生産、総人口、総面積、事業所数等)
- 福岡市及びその周辺は人口増加が見込まれる成長性の高い都市
- 40万人以上の人口を有する都市が九州全体に分散
- 九州は人口減少が進んでいるものの、強固な経済基盤を有している





JR九州グループの経営戦略

JR九州グループの経営理念

JR九州グループ中期経営計画2025-2027



JR九州グループの経営戦略

JR九州グループの経営理念

JR九州グループ中期経営計画2025-2027



九州の元気を、世界へ

魅力あふれるまちづくりを通じて、
九州をもっとにぎやかに、もっとおもしろく。
九州に住む人、九州を訪れる人、
そして JR 九州グループをご利用の
世界中の人を元気にしていきます。



JR九州グループ経営理念

わたしたちの夢

九州の元気を、世界へ

魅力あふれるまちづくりを通じて、九州をもっとにぎやかに、もっとおもしろく。

九州に住む人、九州を訪れる人、そしてJR九州グループをご利用の世界中の人を元気にしていきます。

使命

安全を最優先し、

お客さま視点で考え、

安心で快適な毎日と

“わくわく”するときをつくる。

おこない

誠実

常に誠実さを貫き、自分に、そして社会に誇れる仕事をする。

共創

人や地域、多様な仲間と未来につながる価値を共創する。

挑戦

柔軟な発想を持ち、成長のための挑戦を続ける。

企業CM「九州の元気を、世界へ」





JR九州グループの経営戦略

JR九州グループの経営理念

JR九州グループ中期経営計画2025-2027



JR九州グループ中期経営計画2025-2027

経営環境の変化を踏まえ、長期的な視点での持続的な成長に主眼を置いた計画を策定

重点戦略

①サステナブルな
モビリティサービスの
実現

②事業間連携の
強化によるまちづくり

③未来への種まき

経営基盤

労働市場の変化を
踏まえた人的資本拡充

環境課題への
統合的なアプローチ

DX活用範囲の
拡大と深掘り

グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

JR九州グループ中期経営計画2025-2027

数値目標

営業収益 **5,300** 億円 営業利益 **710** 億円

EBITDA **1,150** 億円 ROE **現行水準の維持**

セグメント別目標*

(単位:億円)

セグメント名	営業収益	営業利益
運輸サービス	1,890	205
不動産・ホテル	1,670	340
流通・外食	800	40
建設	1,100	80
ビジネスサービス	880	55

*セグメント毎の営業収益・営業利益はセグメント間取引消去前

キャッシュアロケーション



財務健全性(2027年度見通し)

D/EBITDA 5倍程度

自己資本比率 40%程度

JR九州グループ中期経営計画2025-2027

経営環境の変化を踏まえ、長期的な視点での持続的な成長に主眼を置いた計画を策定

重点戦略

①サステナブルな
モビリティサービスの
実現

②事業間連携の
強化によるまちづくり

③未来への種まき

経営基盤

労働市場の変化を
踏まえた人的資本拡充

環境課題への
統合的なアプローチ

DX活用範囲の
拡大と深掘り

グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

重点戦略① サステナブルなモビリティサービスの実現 | 鉄道事業における需要創出の取り組み

他社とのコラボイベントや割引きっぷの企画を通して移動需要を喚起、鉄道のトップライン向上に取り組む

PIKMIN×JR九州(2024年12月～2025年6月)



▲駅前広場でのイベント



▲ラッピングトレイン

任天堂のゲームソフト「ピクミン」シリーズとタイアップ

博多駅をはじめ各駅前広場でのイベントやラッピングトレイン、JR九州アプリを活用したデジタルスタンプラリー等を実施

ターゲット別 割引きっぷ



▲こどもぼうけんきっぷ



▲免許返納おでかけきっぷ

HKT48×JR九州(2025年7月～2026年3月)



▲ご当地アイドルとのコラボ企画

重点戦略② 事業間連携の強化によるまちづくり | 九州大学箱崎キャンパス跡地開発

地域社会や他社との連携を図ったまちづくりを推進

- ・ 2024年4月に当社を含む8社の企業グループが優先交渉権者に選定
- ・ 約28.5ヘクタールの広大な敷地に住居、業務研究、商業、医療、教育等の多様な都市機能を配置
- ・ 再生可能エネルギーの活用や豊かなみどり空間の整備などにより、都市の中に自然を取り込んだ快適な環境を創出
- ・ 安全・健康・移動・防災・エネルギーなど生活全体を支え“人生の質を高める”スマートサービスを導入することで、持続可能なまちづくりを目指す

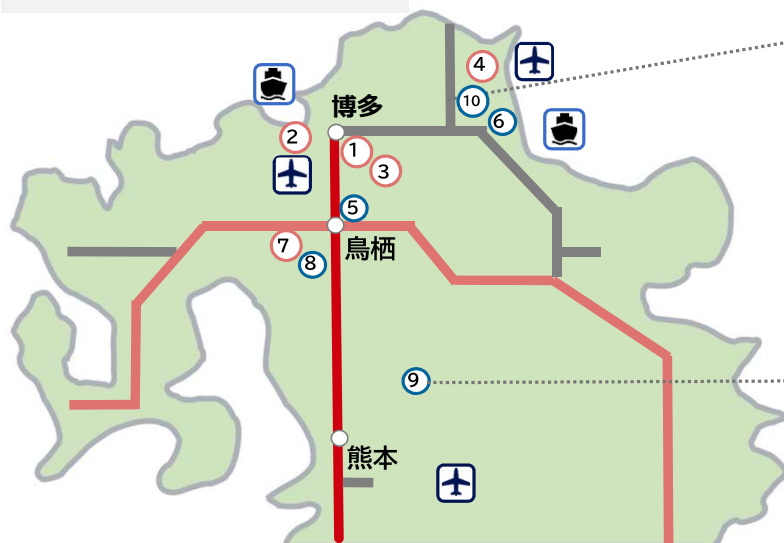


重点戦略② 事業間連携の強化によるまちづくり | 物流不動産の取り組み

物流不動産事業を拡大。他社との連携も活用しつつ、物件の取得・開発を積極的に推進

自動車道

- 九州自動車道
- 長崎自動車道、大分自動車道、東九州自動車道
- その他



(仮称)北九州長野津田物流施設

- 吉田海運との2件目の共同開発事業

所在地：福岡県北九州市
延床面積：約32,400㎡
竣工：2027年1月(予定)



菊池市旭志伊坂開発

- 熊本県初の自社開発物件
- 半導体関連産業が集積する
セミコンテクノパークから
約7km

所在地：熊本県菊池市
延床面積：約16,800㎡
竣工：2027年春(予定)



九州内物流不動産 ()内、延床面積

- 稼動中 ● 5件
- 開発中等 ● 5件

- ① 福岡北物流センター (約11,600㎡)
- ② 箱崎心頭物流施設 (約25,600㎡)
- ③ 須恵第一物流センター (約12,300㎡)
- ④ 新門司物流施設 (約14,400㎡)
- ⑤ LOGI STATION福岡小郡 (約85,300㎡)

- ⑥ LOGI STATION福岡苅田 (約15,900㎡)
- ⑦ 神埼物流施設 (約9,200㎡)
- ⑧ 佐賀県鳥栖市村田町開発 (約21,200㎡)
- ⑨ 菊池市旭志伊坂開発 (約16,800㎡)
- ⑩ (仮称)北九州長野津田物流施設 (約32,400㎡)

重点戦略③ 未来への種まき

未来への種まきとして、適切なリスクテイクを通じた新規事業創出やレジリエンスの更なる強化に積極的に取り組む

目的

- デジタルテクノロジーの発展をはじめとする外部環境変化の有効活用
- 新規領域に加えて、既存事業への新たな活力の注入

取組み

- VC(ベンチャーキャピタル)への出資等を通じた新たな共創
- 専任チームの強化

新たな事業
機会の創出



レジリエンス
の強化

目的

- 資本効率性の向上
- 人流に依存した事業PFの改善
- お客さまとの豊富な接点の活用

取組み

- 人流に依存しない事業領域の拡張(M&Aの活用等)
- PMI高度化、経営人材の育成・登用



系統用蓄電事業
(でんきの駅)

社会課題解決

環境ビジネス等の
社会課題解決と経済性の
両立が可能な事業の探索

新技術の活用

多様化するニーズへの適応や
新たな需要の創造



空飛ぶクルマ



跨線道路橋の包括的維持管理

BtoB、BtoG市場の開拓

鉄道建設を中心とした既存事業の
ノウハウを活用できる市場への
積極的な参画

重点戦略を支える経営基盤強化の取り組み

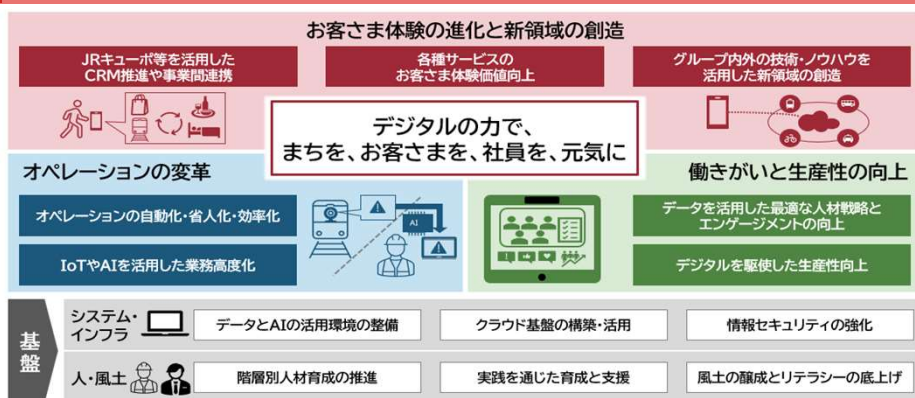
労働市場の変化を踏まえた人的資本拡充

- ・社員の待遇改善や働きやすさを改善するための投資を拡充
- ・研修の拡充等を通じて、人材の育成を推進



明るく楽しい会社づくり研修

DX活用範囲の拡大と深掘り



環境課題への統合的なアプローチ

地域・お客さま・事業パートナーと共創する、
自然と共生した未来



- ・気候変動に加え、資源循環や生物多様性の3つの領域に対して統合的にアプローチし、環境課題の解決を目指す
- ・2050年カーボンニュートラルに向けて、2035年度までに2023年度比でグループ全体のGHG排出量60%削減を掲げる

グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

グループガバナンスの強化

新たな取り組み

- ・安全に関するリスク特定及び対策の明確化
- ・グループ全社の業績評価に安全の項目を追加
- ・グループ監査体制強化、全社に安全担当役員を選任
- ・グループ会社における安全に関する定例会議の開催
- ・社会的影響の大きな事象等が発生したグループ会社へのモニタリングの実施



決算ハイライト・株主還元

2026年3月期第1四半期連結決算ハイライト

2026年3月期通期連結業績予想

株主還元方針

株主優待制度





決算ハイライト・株主還元

2026年3月期第1四半期連結決算ハイライト

2026年3月期通期連結業績予想

株主還元方針

株主優待制度



2026年3月期 第1四半期連結決算ハイライト

運賃・料金改定による鉄道旅客運輸収入の増加や、不動産販売収入が増加したことなどにより、連結営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は対前年増収増益

(単位:億円)

	2025年3月期 1Q累計実績	2026年3月期 1Q累計実績	対前年	
営業収益	1,041	1,175	133	112.8%
営業利益	147	199	52	135.8%
経常利益	151	204	52	135.0%
特別損益	1	9	8	649.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	114	163	49	143.6%
EBITDA ^(※)	236	292	56	123.8%

※EBITDA=営業利益+減価償却費(転貸を目的としたリース資産に係る減価償却費除く) 以下、全て同様です。

2026年3月期 連結通期業績予想ハイライト

運賃・料金改定実施などにより、連結営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は増収増益見込み

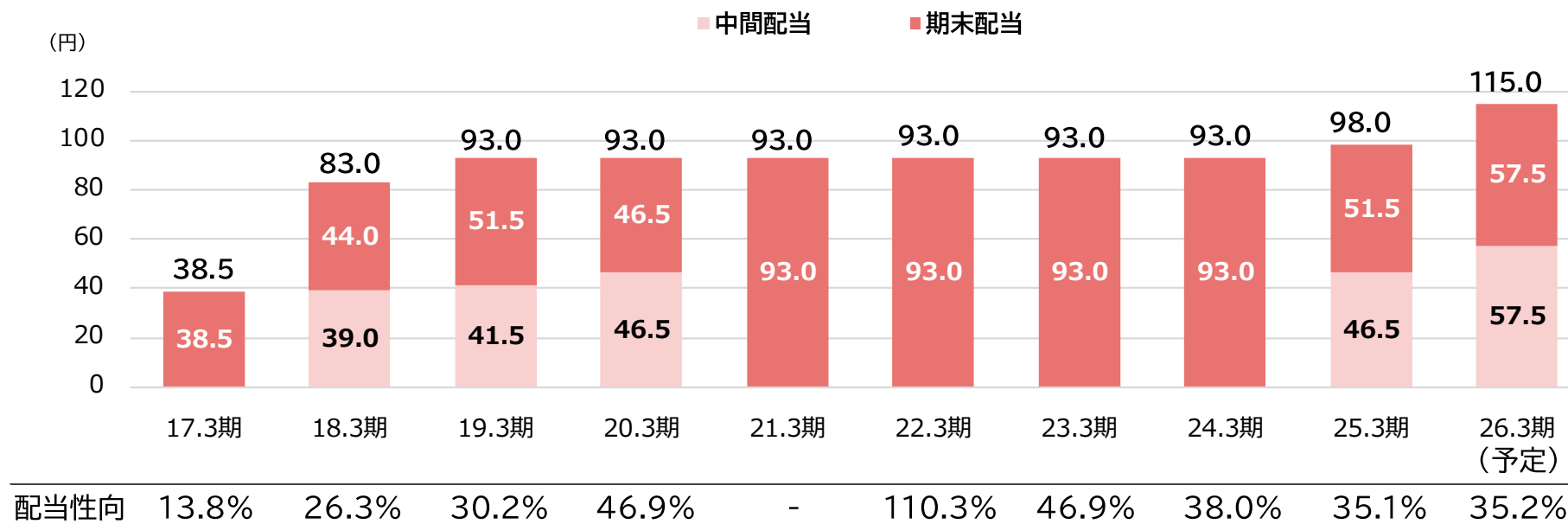
(単位: 億円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 通期予想	対前年		中期経営計画 2025-2027 数値目標
営業収益	4,543	4,833	289	106.4%	5,300
営業利益	589	676	86	114.6%	710
経常利益	595	659	63	110.6%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	436	511	74	117.0%	—
EBITDA	959	1,064	104	110.9%	1,150

株主還元

- 株主還元は長期安定的に行っていくことが重要と考え、2028年3月期までの間は、連結配当性向35%以上の配当を実施するとともに、機動的に自己株式取得を行う
(前中期経営計画期間と比較して配当額は増加する見込み)
- 2026年3月期の配当予想は、1株当たり年間配当金115円

(参考)1株当たり年間配当金の推移





決算ハイライト・株主還元

2026年3月期第1四半期連結決算ハイライト

2026年3月期通期連結業績予想

株主還元方針

株主優待制度

★株主優待制度

2種類の株主優待（3月31日を基準日として6月下旬に送付しています）

鉄道株主優待券

1枚につき、お一人様の運賃が1日無料（**1日乗車券タイプ**）
特急列車・新幹線にご乗車の場合は、別途特急券が必要

JR九州グループ
株主優待券

JR九州グループの各利用対象施設で現金同様にご利用可能な
2,500円分の金券

株主優待制度の拡充（2025年7月1日より）

＜JR九州グループ株主優待券＞

2025年7月1日より**電子化**し、利用対象施設を**新規追加**

＜長期保有株主優待制度＞

継続保有期間を**3年から2年に短縮**し対象範囲を拡大



株主優待制度(鉄道株主優待券)

- お一人様1日限り、JR九州管内の快速・普通列車に乗り放題(日田彦山線BRT含む)
- 別途特急券等をご購入いただければ、特急列車・新幹線、D&S列車にもご乗車いただけます。
- 鉄道株主優待券と併用する特急券は、券売機やインターネット予約でも購入いただけます。

＜ご利用の際の運賃・料金のイメージ＞

博多→鹿児島・指宿温泉へ

(大人お一人さまで九州新幹線自由席、特急「指宿のたまて箱」指定席、片道利用の場合)

通常料金: 13,750円(運賃: 6,820円、新幹線自由席: 5,150円、特急指定席1,780円)

優待料金: 6,930円(運賃: 0円、新幹線自由席: 5,150円、特急指定席1,780円)



株主優待制度(JR九州グループ株主優待券)

2025年7月1日から拡充しました！

「JR九州グループ株主優待券」を電子化

おすすめポイント

- メリット① お手元のスマホで簡単に使える！
- メリット② 1円単位で使える！
- メリット③ 紛失のリスク低減！
- メリット④ 紙の使用量削減につながり、環境にやさしい！



利用手順



お気に入り登録をすると毎回の読み取りが不要になります。

株主優待制度(JR九州グループ株主優待券)

2025年7月1日から拡充しました！

JR九州グループ株主優待券の利用対象施設を新規追加

※JR九州リテール株式会社が運営する九州のお土産セレクトショップ「銘品蔵」全店舗と
JR九州フードサービス株式会社が関西地区で運営する「こめらく」を新規追加



博多銘品蔵 博多口店



こめらく 贅沢な、お茶漬け日和。
阪急西宮ガーデンズ店

株主優待制度(長期保有株主優待制度)

2025年7月1日から拡充しました！

長期保有株主優待制度の内容を拡充し継続保有期間を2年に短縮

ご優待内容

「鉄道株主優待券」と「JR九州グループ株主優待券」を追加で発行

発行基準

毎年3月31日を基準日として、500株以上を保有し、かつ100株でも継続して**2年**以上保有

所有株式数	鉄道株主 優待券	長期保有 株主優待	JR九州グループ	長期保有 株主優待
			株主優待券	
100株～500株未満	100株毎に 1 枚	—	一律2,500円分	—
500株～1,000株未満	100株毎に 1 枚	1 枚追加	一律2,500円分	1,000円分追加
1,000株～10,000株未満	10枚 + 1,000株超過分 200株毎に 1 枚	2 枚追加		2,000円分追加
10,000株～20,000株未満	55枚 + 10,000株超過分 300株毎に 1 枚			
20,000株以上	100枚			

例) 2025年3月31日時点での所有株式数が500株以上であれば、
直前2年間の保有株式数が500株未満であっても長期保有株主優待の対象となります。

社長から皆さまへのメッセージ

当社グループは「安全を最優先し、お客さま視点で考え、安心して快適な毎日と“わくわく”するときをつくる。」ことを「使命」として、「九州の元気を、世界へ」届けることを「わたしたちの夢」として掲げています。

これらの経営理念の実現を目指し、実行していく戦略として「JR九州グループ中期経営計画2025-2027」を策定しています。

これからも持続的な成長に向けて、積極果敢に挑戦するとともに、当社グループに関わるすべての方の元気をつくることに挑戦し続けることで、中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

★ 本日のまとめ

JR九州グループ について

主たる事業フィールドである九州を中心に、鉄道事業のみならず不動産、流通・外食事業等さまざまな分野に進出し、**持続的な成長に向けて積極果敢に挑戦する企業グループ**

JR九州の 経営戦略

JR九州グループ経営理念を一新するとともに、
「JR九州グループ中期経営計画2025-2027」を策定。
「サステナブルなモビリティサービスの実現」、「事業間連携の強化によるまちづくり」、「未来への種まき」を重点的に取組む

決算ハイライト ・ 株主還元

- ・ 2026年3月期第1四半期は対前年で**増収増益**
(連結営業収益、営業利益、経常利益は過去最高)
- ・ 連結配当性向35%以上の配当を実施し、機動的に自己株式取得を実施
2026年3月期の配当予想は1株当たり**年間配当金115円**
- ・ 株主優待は2種類 (**長期保有株主優待制度あり**)

株主さま向け限定イベントの開催(過去の開催実績)

株主さまに当社事業への理解を深めていただくべく、各種イベントを開催

株式上場7周年記念キャンペーン



JR九州社長によるトークショー＆「SL人吉」「A列車で行こう」貸切ツアーの様子

熊本総合車両所見学ツアー

- 熊本総合車両所にて新幹線の点検行程等を見学



九州外で開催のイベント



関東地区（赤坂うまや）にて写真家村上悠太氏をお招きしてトークショーを開催

株主さま向けメルマガ会員限定イベント



鉄道フェスタ in 南福岡車両区

ミニトマト収穫体験ツアー in 熊本

株主さま向けメールマガジンのご案内

当社の株主さま向けに月2回程度、IR情報や株主さま限定イベント、アンケート等の情報をお届けいたします

[🏠](#) > [企業・IR・ESG・採用](#) > [IR情報](#) > [IRライブラリ](#) > [個人投資家向け資料](#) > [メールマガジン](#)

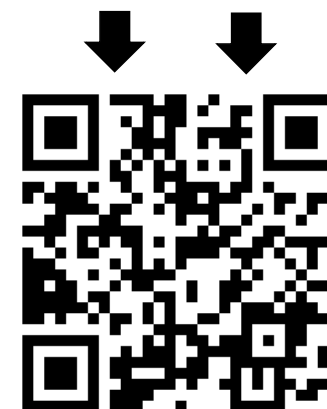
JR九州株主さま向けメールマガジン登録のご案内

JR九州株主さま向けメールマガジンは、当社の株主の皆さまへの情報提供サービスです。以下のパナーをクリックして株主さまの情報をご登録いただきますと、メールで当社の企業情報やキャンペーン情報をお届けします。

※当社の株主さま限定のサービスとなります。

[新規登録（登録料・年会費はありません） >](#)

ご登録はこちら



※本メールマガジンは、トライコーン株式会社のメール配信ASPサービス「クライゼル」を採用しており、申込受付フォームは「クライゼル」のサイトとなりますので予めご了承ください。

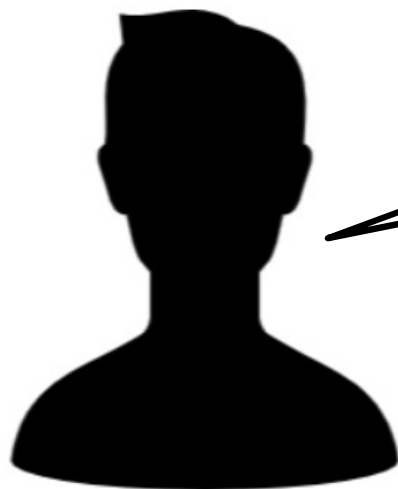


よくあるご質問





ご質問①



Q

博多駅周辺における
今後のまちづくりの方針は？

博多駅周辺のまちづくり

- 当社で最も乗車人員の多い博多駅の周辺では、まちづくりを通じたエリアの価値向上に注力
- 博多エリア4軒目となる新規ホテルを計画。建物賃借による出店でアセットライトを実現

ホテル ● ()内、総客室数

- ①JR九州ホテル ブラッサム福岡(90室)
- ②JR九州ホテル ブラッサム博多中央(247室)
- ③THE BLOSSOM HAKATA Premier(238室)

④博多駅前3丁目 ホテル(仮称)

- 博多駅エリア4軒目となる新規ホテル。建物賃借によるアセットライト出店
- ホテルブランドは自社ブランドを検討

2028年度中開業予定
総客室数 : 約150室予定

オフィス ● ()内、延床面積

- ①JRJP博多ビル(約44,000㎡)
- ②JR博多駅南ビル(約3,500㎡)
- ③JR博多駅東NSビル(約10,000㎡)
- ④サンライフ第3ビル(約9,000㎡)
- ⑤コネクトスクエア博多(約21,400㎡)
- ⑥JR博多駅前第1ビル(約2,900㎡)

商業 ● ()内、延床面積

- ①JR博多シティ
(約240,000㎡ ※博多阪急等含む)

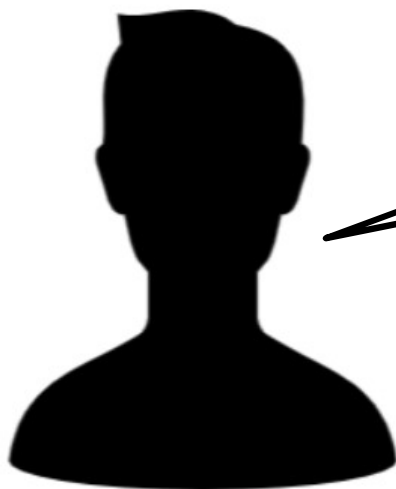
賃貸住宅 ● ()内、総戸数

- ①RJRプレシア博多駅前(208戸)
- ②RJRプレシア博多楽水園(78戸)
- ③RJRプレシア博多(218戸)

※RJRプレシア博多、RJRプレシア博多楽水園、RJRプレシア博多駅前はJR九州プライベートリート投資法人にて資産保有、JRJP博多ビル、コネクトスクエア博多は資産を他社と共有、JR九州ホテル ブラッサム博多中央は建物賃借にて運営



ご質問②



Q

TSMC熊本工場の稼働が
JR九州に与える影響や
今後の取り組みは？

豊肥本線エリアの現況

- 半導体企業の集積により、交流・沿線人口の増加が見込まれる
- 新駅～原水駅間を対象としたまちづくりの検討や、肥後大津駅最寄りのオフィスビルの開発に取り組む

（仮称）原水駅周辺土地区画整理事業

- ・当社を含むコンソーシアム（代表企業：三井不動産株式会社）が事業認可までの要件整理を担当する事業検討パートナーに選定。菊陽町が描く将来ビジョンの具体化を検討。

委託期間	2026年3月31日まで
対象エリア	新駅～原水駅間の約70ha
その他	今後、事業認可後の土地開発等を担当する事業推進パートナーの公募が行われる予定（時期未定）



（仮称）JR肥後大津ビル開発計画

- ・半導体サプライヤーを始めとした企業の拠点を想定。
- ・肥後大津駅から徒歩2分
TSMC熊本工場も位置する、
セミコンテクノパークまで車で約8分

竣工：2027年1月（予定） 延床面積：9,212㎡

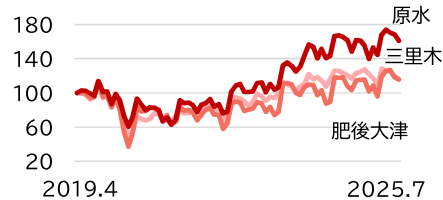


TSMC熊本工場（第1工場）

所在地：熊本県菊陽町
稼働時期：2024年12月～
その他：第2工場は第1工場
周辺にて年内着工予定。



乗車人員推移



※2019年4月の乗車人員＝100として指数化



画像 ©2024 TerraMetrics, Airbus, Google、地図データ©2024 Google



将来の見通しに関する記述について

本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、今後、国内外および九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。

弊社IR関連資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR九州ホームページ

<https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/earnings/>



ありがとうございました

